

カスピ海での生物観察

カスピ海に突き出たアブシェロン半島の先端に、アブシェロン国立公園 (Absheron National Park) があります。バクー市中心部から東へ約60km、車で片道1時間と、休日に日帰り旅行するには絶好の距離にあります。

公園内の駐車場に車を止めて徒歩45分ほどで、アブシェロン半島の先端ポイント(アゼルバイジャン語で「王の舌(Shahdili)」)にたどり着くこともできます。実に日本とほぼ同じ大きさを誇るカスピ海の雄大さと、その波を全身で感じることができます。

公園内では、特に毎年1月～2月にかけてカスピ海へ越冬のため飛来するオオフラミンゴ (Greater Flamingo) の姿を見る貴重な体験をすることができます。観察の際には警戒心の強いフラミンゴを驚かせないように、高倍率の双眼鏡を持参することをお勧めします。また、国立公園入り口で係員に聞けば、群れがいるポイントを親切に教えてくれます。

5月から8月にかけて、運が良ければ、アブシェロン半島で骨休めをしているカスピカイアザラシ (Caspian Seal) を観察することもできるそうです。そのほかにも、公園内には 50 種以上の鳥類や動物、25種近くの植物が生息しており年間を通じて様々な動植物を観察することができます。バクー市から少し足を伸ばして、アゼルバイジャンの雄大な自然を感じてみてはいかがでしょうか。



引用:<https://azertag.az/en/xeber/Flamingos-2080349>

(以上)